

2011年度後期 学生による授業アンケート 集計報告

大学教育センター

(1) 2011年度 後期 学生による授業アンケート実施状況

「学生による授業アンケート」は、大学教育委員会からの委託を受け、大学教育センターが2012年1月6日～2月17日の期間に実施しました。回収状況は表1に示す通りです。

表1 2011年度後期 アンケート回収状況

	所属	対象科目数	回収科目数	回収率 (%)
学部	農学部	86	77	89.5
	工学部	127	111	87.4
	学部合計	213	188	88.3
学府	工学府	39	36	92.3
	農学府	13	7	53.8
	BASE	7	6	85.7
	学府合計	59	49	83.1

<アンケート回収状況>

2011年後期は、学部では88.3%（農学部89.5%、工学部87.4%）、学府では83.1%（工学府92.3%、農学府53.8%、BASE85.7%）であり、2011前期と比較して、回収率がやや低下しました。その原因として、工学府およびBASEの回収率は高いのですが、農学府の回収率が53.8%（2011前期は66.7%、2010年後期は64.7%）にとどまっており、改善されていません。学生から十分に意見が収集できていないことが残念です。

これからも、アンケート実施を周知徹底し、より多くの意見が収集できるように取り組んでいきたいと思えます。

(2) アンケート項目の評点平均（学部）

学部別に、15項目中の12項目の評点平均を表2と図1に示しました。

今回の結果と前回（2011年度後期）と比較すると、工学部の評点平均が上昇しました。特に、項目7【交流：教員と学生との交流があった】が3.72（2011年度前期は3.39から0.33ポイント上昇）、項目13【意欲：教員の授業に対する意欲を感じた】が4.23（前期は4.04から0.19ポイント上昇）、項目8【教材：教材（教科書、自作テキスト、プリント、各種メディアなど）は適切であった】が3.87（2011年度前期は3.69、0.18ポイント上昇）、項目2【興味・関心：授業内容に興味・関心が持てた】が3.90（前期3.73から0.17ポイント上昇）項目15【満足度：総合的に見てこの授業に満足した】が3.95（前期は3.79から0.16ポイント上昇）となりました。一方、農学部はほとんど変化がありませんでした。

今までは、農学部と工学部の平均値に0.2-0.3ポイントの差が見られました。しかし、今回は、図1に示すように、工学部と農学部との平均値の差はほとんど見られなくなりました。

表 2 学部別の評点平均

学部 (188 科目)	農学部 (77 科目)	工学部 (111 科目)
1【理解】	3.78	3.72
2【興味・関心】	3.89	3.90
3【シラバス】	3.69	3.55
5【学生の意欲】	3.34	3.52
6【声】	4.16	4.13
7【交流】	3.74	3.72
8【教材】	3.84	3.87
9【教育手段】	3.70	3.71
12【時間厳守】	4.26	4.27
13【意欲】	4.21	4.23
14【態度】	4.44	4.24
15【満足度】	3.93	3.79

- 注1) アンケート項目（15 項目）のうち、項目 4（予習・復習の平均時間）、項目 10（授業の難度）、項目 11（授業の進度）については、評定平均の集計から除外
- 注2) 回答は 5 件法（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3 どちらとも言えない 4：まあそう思う 5：そう思う）

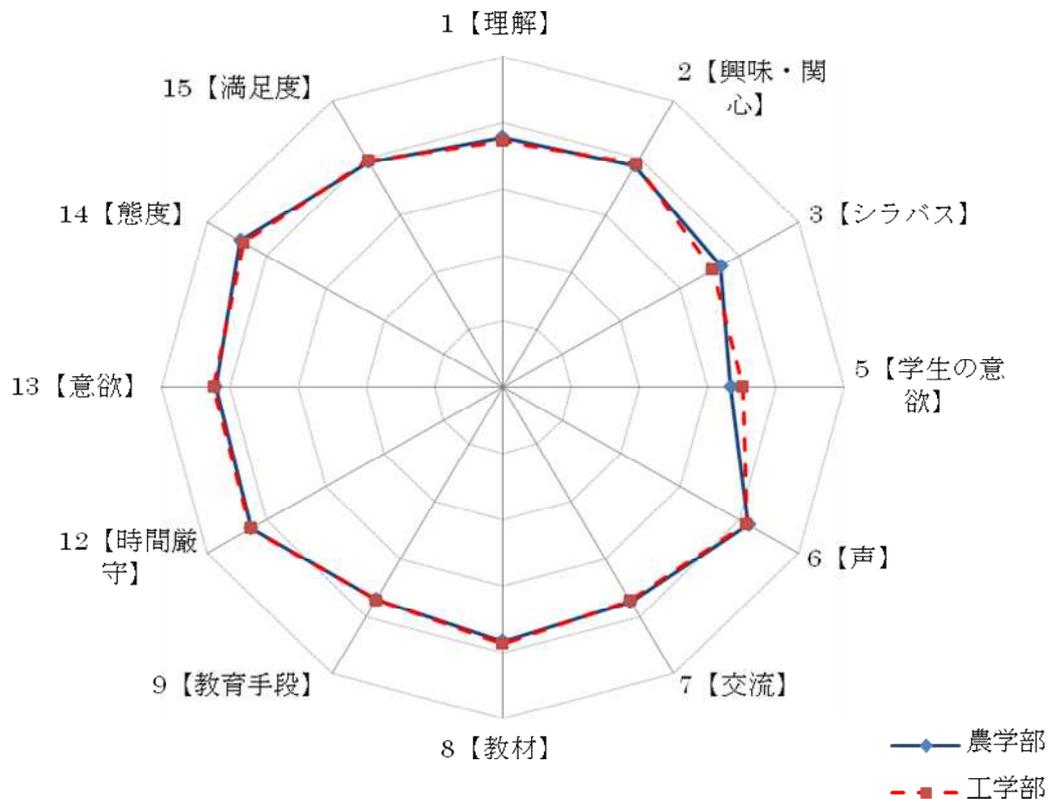


図 1 2011 年度後期 質問項目別の評点平均の比較 (学部別)

学部生からの評価が高い項目は、【14.態度：教員は学生に対して適切な態度・言葉遣いであった】（農学部 4.44, 工学部 4.39), 【12.時間厳守：教員は時間を守って授業をした】（農学部 4.26, 工学部 4.27), 【13.意欲：教員の授業に対する意欲を感じた】（農学部 4.21, 工学部 4.23), 【6.声：教員の声ははっきりとよく聞こえた】（農学部 4.16, 工学部 4.13), でした。教員の学生に対するマナー、態度に関しては、概ね満足度が高いようです。

一方、評価が低かった項目は、【5.学生の意欲】私（学生）はこの授業に積極的に取り組んだ（農学部 3.34, 工学部 3.52), 【3.シラバス】シラバスを見て授業の目的と成績評価の方法を知っていた（農学部 3.69, 工学部 3.55) でした。

(3) アンケート項目の評点平均（学府）

表 3 に学府別のアンケート項目（15 項目のうち 12 項目）ごとの平均値を示しました。

図 2 は同じ結果をレーダチャートとして示しました。学府では、アンケートの評点平均が 3.5 を下回る項目はありませんでした。しかし、前回（2010 年度前期）と比較すると、全般的に評点平均の上昇が見られました。

表 3 学府別の評点平均

学府 (49 科目)	工学府 (36 科目)	農学府 (7 科目)	BASE (6 科目)
1【理解】	3.98	4.26	4.04
2【興味・関心】	4.42	4.47	4.51
3【シラバス】	4.04	3.95	3.74
5【学生の意欲】	3.90	4.00	3.96
6【声】	4.68	4.57	4.67
7【交流】	4.12	4.47	4.00
8【教材】	4.21	4.26	4.02
9【教育手段】	4.23	4.08	3.94
12【時間厳守】	4.25	4.28	4.45
13【意欲】	4.45	4.55	4.49
14【態度】	4.70	4.57	4.75
15【満足度】	4.35	4.54	4.27

注1) アンケート項目（15 項目）のうち、項目 4（予習・復習の平均時間）、項目 10（授業の難度）、項目 11（授業の進度）については、評定平均の集計から除外

注2) 回答は 5 件法（1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3 どちらとも言えない 4：まあそう思う 5：そう思う）

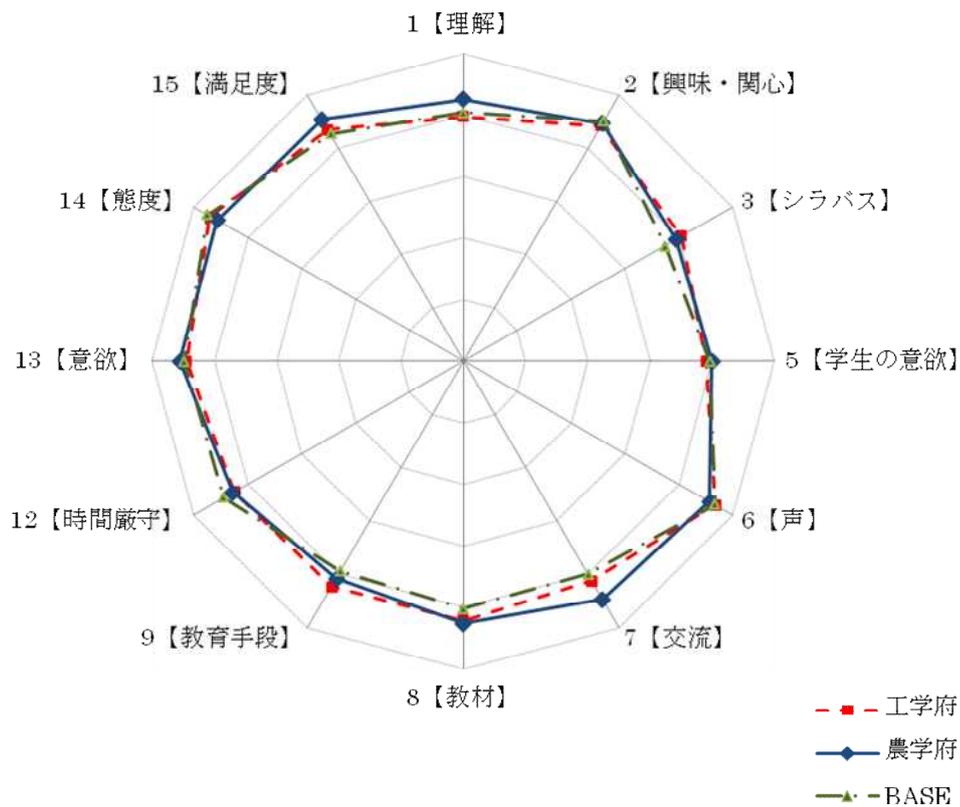


図2 2011年度後期 質問項目別の評点平均の比較(学府別)

学部と同様に、大学院生からの評価が高い項目は、【14.態度：教員は学生に対して適切な態度・言葉遣いであった】(工学府 4.70, 農学府 4.57, BASE4.75), 【13.意欲：教員の授業に対する意欲を感じた】(工学府 4.45, 農学府 4.55, BASE4.49), 【12.時間厳守：教員は時間を守って授業をした】(工学府 4.25, 農学府 4.28, BASE4.45), でした。授業での教員の学生に対するマナー、態度に関しては、概ね満足度が高いようです。

一方、評価が低かった項目は、【5.学生の意欲：私(学生)はこの授業に積極的に取り組んだ】(工学府 3.90, 農学府 4.00, BASE3.96), 【3.シラバス：シラバスを見て授業の目的と成績評価の方法を知っていた】(工学府 4.04, 農学府 3.95, BASE3.74), 【9.教育手段：黒板、またはパワーポイントの使い方はよかった】(工学府 4.23, 農学府 4.08, BASE3.94), 【1.理解：授業内容がよく理解できた】(工学府 3.98, 農学府 4.26, BASE4.04) でした。

(4) 学生の学習状況

アンケート項目(15項目)のうち、学生の学習状況を示す7つのアンケート項目(1.【理解】、2【興味・関心】、4.【予習・復習時間】、5.【学生の意欲】、10.【授業の難度】、11【授業の進度】、15【満足度】)に関しては、各選択肢の回答比率をまとめました。この結果は、農学部(77科目)、工学部(111科目)、工学府(36科目)、農学府(7科目)、BASE(6科目)について集計したものであり、開講科目の一部について実施しています。

1. 【理解】

「授業がよく理解できたか」という問いに対して、図 3 に示すように「5.そう思う」「4.まあそう思う」と回答した割合が学部生では 70%，大学院生では、85%-90%に達しています。農学府で肯定的な回答の割合が高くなっています。

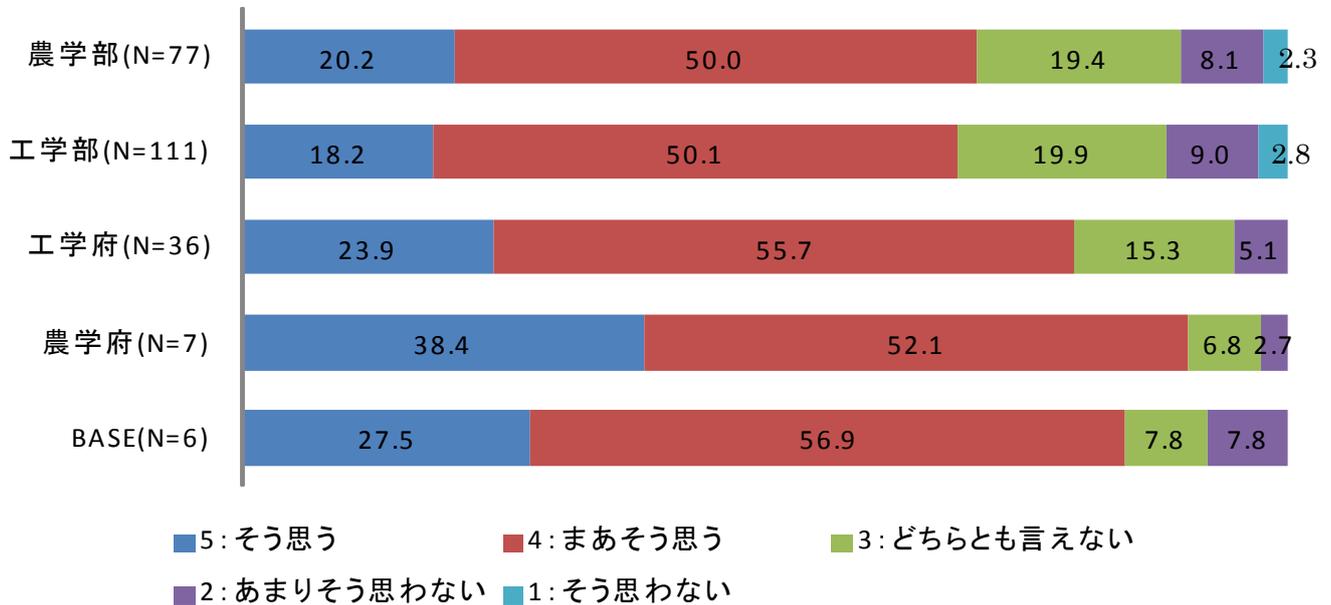


図 3 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (1. 【授業内容】)

2. 【興味・関心】

「授業内容に興味・関心が持てたか」という問いに対して、図 4 に示すように「5.そう思う」「4.まあそう思う」と回答した割合が学部生では 70%程度でした。大学院生では、85%-95%に達しています。学部生よりも大学院生で肯定的な回答の割合が高くなっています。

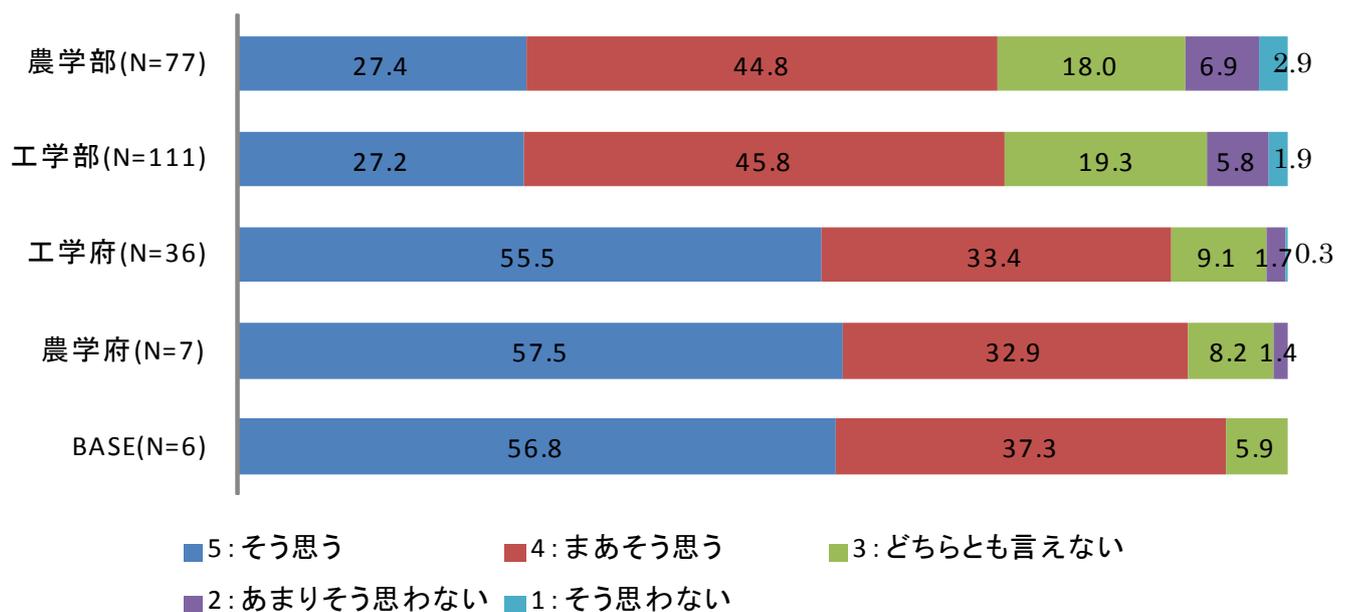


図 4 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (2. 【興味・理解】)

4. 【予習・復習時間の平均】

「授業の予習・復数は平均して」どのくらいかという問いに対して、図5に示すような結果となりました。今回は大学院についてはサンプル数が限られていますが、十分な学習時間が確保されていない可能性があります。まったく予習・復習をしないと回答した割合が、高いことも心配されます。

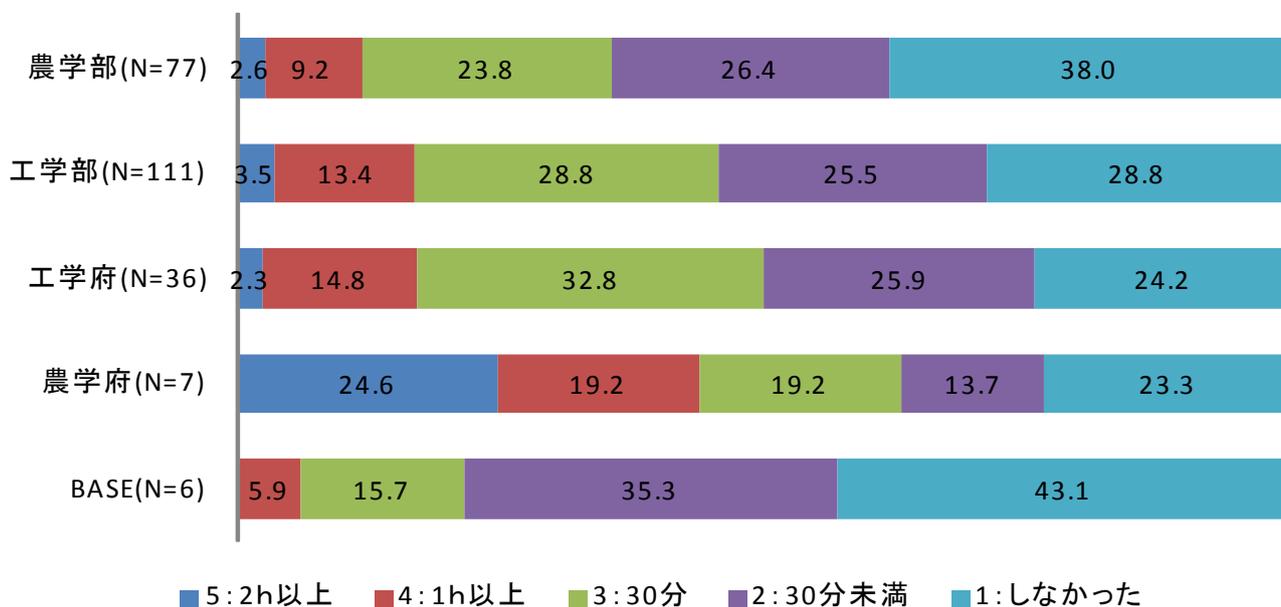


図5 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (4. 【予習・復習時間】)

4. 【学生の意欲】

「学生（私）は授業に積極的に取り組んだか」という問いに対して、図6に示すように「5. そう思う」「4. まあそう思う」と回答した割合が学部生では60%程度でした。大学院生では、70-80%程度であり、学部生よりも大学院生で肯定的な回答の割合が高くなっています。

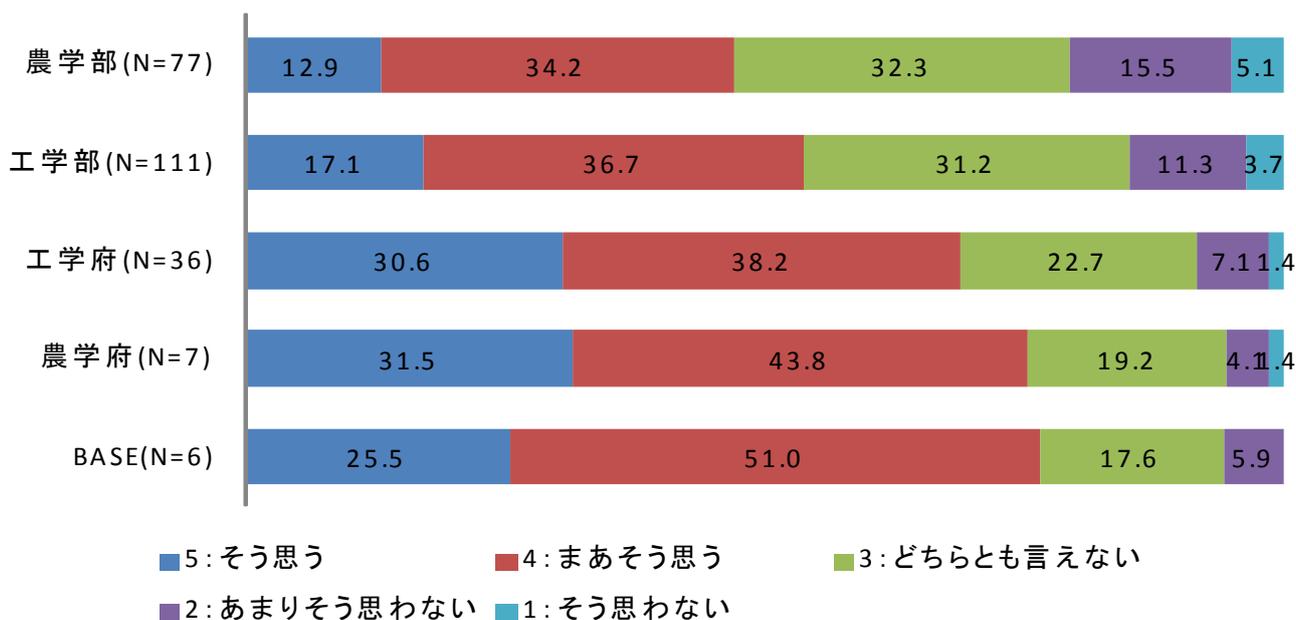


図6 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (6. 【学生の意欲】)

10. 【授業の難度】

「授業のレベル」を選択させる問いに対して，図 7 に示すように「5.難しすぎた」「4.やや難しかった」と回答した割合が学部生，大学院生ともに 40%程度でした。約半数の学生が適切であったと回答しています。

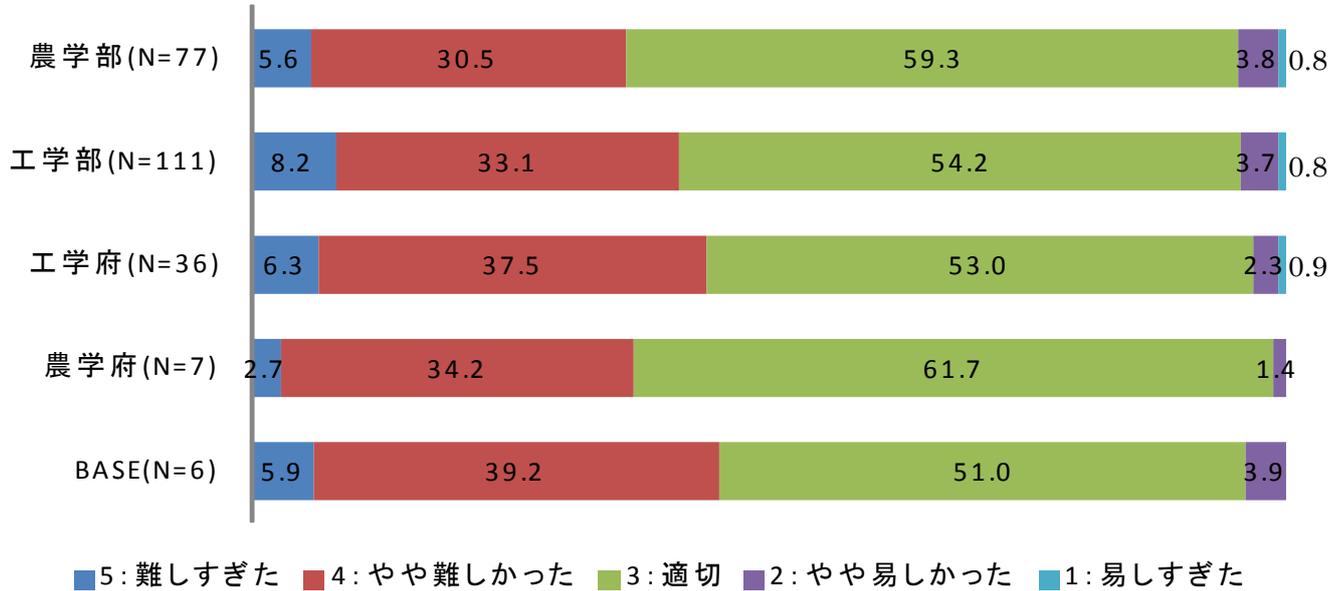


図 7 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (10. 【授業のレベル】)

11. 【授業の進度】

「授業の進度」については，図 8 に示すように「5.速すぎた」「4.やや速すぎた」と回答した割合が学部生，大学院生ともに 13-20%程度でした。70-80%の学生が適切であったと回答しています。

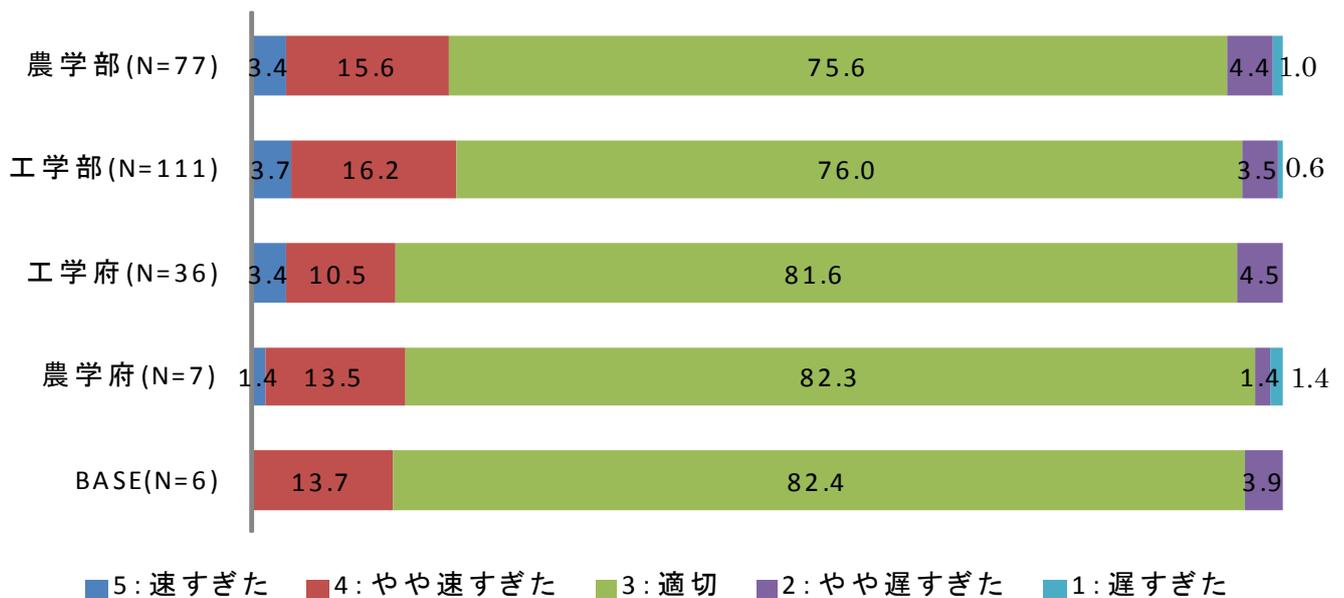


図 8 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (11. 【授業の進度】)

15. 【授業の満足度】

「授業の満足度」は、図 9 に示すように、「5.そう思う」「4.まあそう思う」と回答した割合が学部生では 70%程度でした。大学院生では、85%-95%に達しています。学部生よりも大学院生で肯定的な回答の割合が高くなっています。特に、農学府で、満足度が高いという結果が見られました。

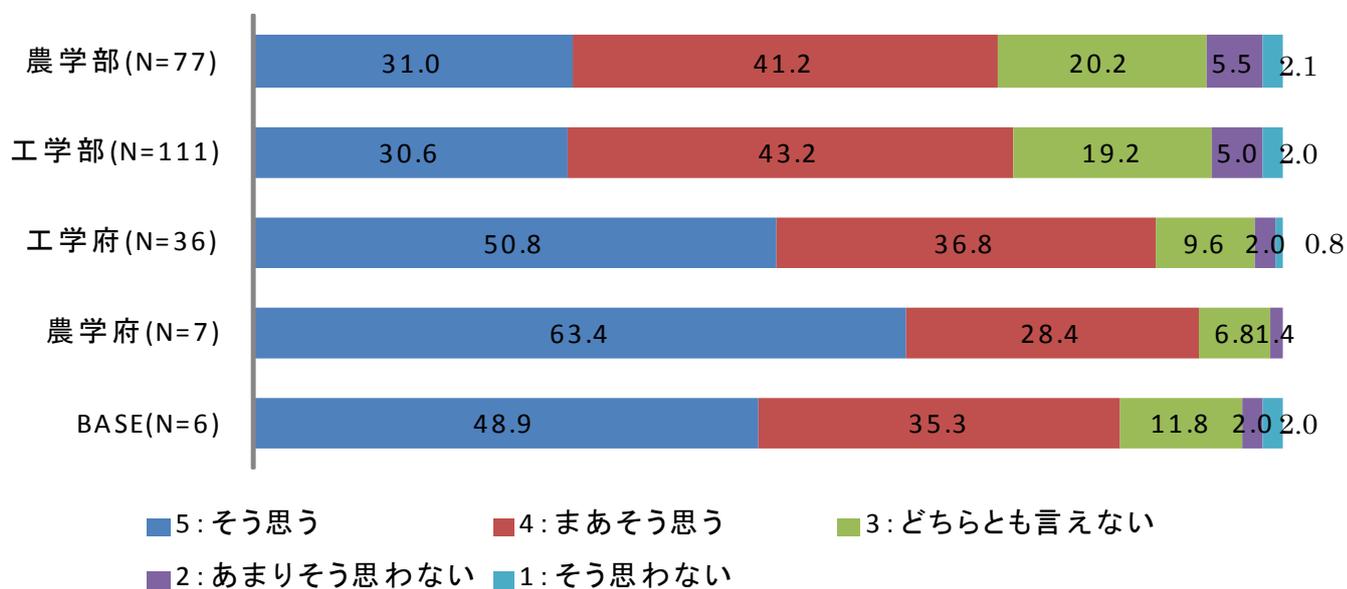


図 7 学部・大学院別の各選択肢の回答比率 (15. 【授業の満足度】)